

第3回総務経済常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和2年11月20日（金曜）		午前10時00分 開会	
	休憩 10:47-11:00、11:02-11:03			
	午前11時04分 閉会			
	休憩時間： 0時間14分		会議時間： 0時間50分	
会議場所	役場3階 本会議場			
出席委員 氏 名	委員長 正村紀美子	委員長 立川 美穂	委員 広瀬 重雄	
	副委員長 鈴木 健充	副委員長 渡辺洋一郎	委員 常通 直人	
	委員 黒田 栄継	委員 中田智恵子	委員 西尾 一則	
	委員 堀切 忠	委員 橋本 和仁		
	委員 中村 和宏	委員 梶澤 幸治		
	委員 柴田 正博	委員 寺町 平一	議長 早苗 豊	
説明員	総務課長参事	菅原 庸晴	学校教育課長	有澤 勝昭
	地域安全係長	梅森 祐之	学校教育課長補佐	清末 有二
	企画財政課長	石田 哲	総務係長	中田 雅彦
	企画調整係長	我妻 修一		
	財政係長	佐々木雅之	商工振興係長	中村 宗紀
参考人				
欠席委員 氏 名				
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	係長 佐藤 史彦	主査 上田 瑞紀	
<p>1 開 会 正村委員長が開会を告げ、事務局から委員会の日程について説明をする。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項 ア 芽室町における新型コロナウイルス感染症対策について 委員長：担当課から説明願います。 総務課参事：今までに実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の進捗状況について主なものを説明する。資料1の1ページ。商工業関係の②「飲食店応援商品券」は、6,998セット、34,990枚販売し、11月9日現在で32,390枚換金されている。④「中小企業経営近代化融資に係る利子補給の拡大」は、11月9日現在、42社、1億7,550万円の融資申込みがある。⑤「プレミアム商品券」</p>				

は、30,282セット、363,384枚販売し、10月31日現在、256,227枚換金されている。教育関係の⑥「大学生等奨学金貸付制度の対象拡大」は、期限までに申請はなかった。⑦「要・準要保護児童就学援助費の対象拡大」は、期限までに9件の申請あり、8件認定している。⑧「ふるさとめむろ学生応援事業」は、期限までに、198人から申請があった。子育て関係の⑩「めむろ赤ちゃん特別支援金」は、11月10日現在、54人、524万円支給している。

企画財政課長：新型コロナウイルス感染症対策として12月議会で補正予算提案を予定している事業について担当から説明する。

財政係長：12月定例会議初日に予定する一般会計補正予算のうち、新型コロナウイルス対策事業の追加計上予定を抜粋して説明する。款・項・目はいずれも「衛生費」・「保健衛生費」・「新型コロナウイルス対策事業費」。事務事業「新型コロナ対策シテイプロモーション推進事業」のサテライトオフィス等推進調査業務委託料は、企業等のサテライトオフィス誘致のための基礎調査を予定。事務事業「新型コロナウイルス対策消防事業」の消防庁舎空調設備設置工事は、仮眠室や執務室等への空調設備設置を予定。事務事業「新型コロナウイルス対策地域防災事業」の防災対策用備品購入費は、避難所における感染症対策として、仕切りとなるパーティションの購入整備を予定。事務事業「新型コロナウイルス対策社会教育事業」の図書館空調設備設置工事は、感染症対策として閲覧室や幼児コーナーなどに空調設備設置を予定。3ページから5ページは、事業の縮小や中止による減額補正をリスト化したもの。

企画財政課長：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、農村部光ファイバー整備に係る辺地対策事業債の活用について、担当から説明する。

企画調整係長：「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の制度概要について、交付対象事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業となっている。事業区分は、「地方単独事業として、自治体の人口や財政状況などにより算定され、1次・2次に分けて配分されるもの」、「国庫補助対象事業として、対象となる補助事業によって配分率が決められ、3次分として配分されるもの」の2つ。芽室町の配分額は、1次配分として1億333万4千円、2次配分として3億905万3千円、現在の配分合計額は4億1,238万7千円となっている。3次配分の時期、金額については現在未定。

「農村部光ファイバー整備に係る辺地対策事業債の活用について」、総事業費は13億2,200万円、うち国庫補助金3億4,300万円、事業者負担2億2,200万円、町負担7億5,700万円、町負担のうち辺地対策事業債4億3,430万円、地方創生臨時交付金の2次配分4,830万円、3次配分2億7,440万円を予定。整備は民設民営で行い、整備対象エリアのうち約90%が辺地となる見込み。辺地対策事業債の状況について、国の令和2年度地方債計画における辺地対策事業債の予算は510億円であり、全国で光ファイバー整備が進む中、辺地対策事業債の需要は増えているが国の予算は変更がなく、辺地対策事業債の予算が不足することにより、起債申請額に対して100%借入れを受けられない可能性がある。辺地対策事業債で100%の借入れができない場合、地方創生臨時交付金の充当額

の増加や、一般財源の活用などを考える必要がある。

企画財政課長：今後取り組む可能性がある「芽室中学校の屋外トイレ」、「換気付き空調設備」の2事業について学校教育課より説明する。

学校教育課長：学校における新型コロナウイルス感染症について、学校では3つの密を避けるなど文部科学省が作成した「学校における新しい生活様式」を導入し、工夫しながら可能な限り教育活動を継続しているところ。更なる換気対策として、児童生徒が1日の大半を過ごす普通教室に換気付空調設備の設置を検討している。国は普通教室への空調設置を交付金対象事業としており、活用を視野に入れている。

企画財政課長：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、実績見込みによる減額分及び国からの3次配分が見込まれることなどから、町への配分額のうち一定程度が残る見込み。活用については1つ目、仮にはあるが、町内での新型コロナウイルス感染症の経済などへの影響が大きくなった場合、その程度にもよるが、交付金を活用し、新たな財政支出の可能性はある。2つ目、光ファイバーの関係で辺地債が満額借入れできない可能性もあり、その場合は、交付金を充当することも考えている。3つ目、学校現場への換気付き空調設備の設置。文部科学省の交付金が活用できることが大前提ではあるが、交付金が活用でき、更に先の2点を踏まえても、余裕がある場合は設置を検討する考え。

委員長：質疑を行います。

広瀬委員：新型コロナウイルス対策全体として、12月に向けての予算措置については対策本部会議で議論したものか、各担当課が提案しているものか。

企画財政課長：対策本部では町全体の大枠の方向性は決定している。個別の事業については通常の予算査定で決定している。

広瀬委員：これまでも経済対策等があったが、感染予防策に関する予算措置が不十分ではないか。感染予防策はどのように考えているか。

総務課参事：12月補正には感染予防対策はない。これまでの本部会議における協議や備品の確保など必要な感染予防対策は実施しているところ。

広瀬委員：現状は理解した。補正予算編成時と今日の状況は全く違う。町長から町民への通知で思いはわかるが、過去最大との連日の報道、専門家からの対策の要請、様々な感染者の推測もある。感染対策は今やらなければ遅いと感じる。経済対策も感染対策も今やる必要があるのではないか。

総務課参事：北海道から集中対策期間が示されているところ。町民への周知を行っているのが現状。感染対策は必要に応じて予備費等も活用していく。

広瀬委員：地方創生交付金の活用予定について、適切な経済対策・感染防止対策をすぐにでもやるべきではないか。予算が残ったらと考えている状況ではないのではないか。

企画財政課長：基本的には同じ考えを持っている。財源を余すのではなく、芽室町に何が必要かスピーディーに対策していきたい。いとまがないものは予備費で対応してきた。その中で財源に余裕ができた場合は、光ファイバー、学校の空調もウィズ・コロナに対しては必要なものとして財源充当を考えている。まずは現状の感染対策、経済対策を最優先に実施していく。

鈴木委員：中小企業等事業持続化支援金の利用は、当初の想定と異なり飲食店より商業、工業が多い。既に終了しているが、どう検証し今後どうしていくのか。

商工振興係長：中小企業等事業持続化支援金は期限となったが、飲食店以外の状況も踏まえ、商工会、金融機関等とさらに支援が必要か検討しているところ。

鈴木委員：10月は回復傾向にあったが、11月のコロナ拡大で消費が3月、4月以上に落ち込んでいるようだ。年末に向けて早急な対策が必要と考えるが。

商工振興係長：現在情報交換中である。年末、年度末に向けてどのような支援が必要か、緊急融資は12月が期限であるが延長が必要かなども協議している。

常通委員：消防や図書館の空調設備と学校に設置予定のものは違うのか。また、どのような効果を見込んでいるか。

企画財政課長：消防庁舎、図書館はエアコンを想定。学校は直ちに補正予算提案ではないが換気機能付きエアコン。若干物は違う。消防庁舎・図書館は冷房の必要性は高い。学校は夏休み前後も暑い状況であり、一定の距離を保つことも難しく、窓開け換気は行っているが、他の手法も考え空調だけでなく換気機能付きを考えている。

常通委員：機械換気の視点は必要。エアコンは暖房にも使えるものか。

企画財政課長：図書館と消防庁舎は暖房機能を想定していない。

学校教育課長：暖房機能はあり、冬も外の空気を入れながら活用したい。

梶澤委員：厳しい状況となり、中には年を越せないという事業者の声もある。終了した事業の継続など検討はされているか。

総務課参事：商工業関係の④中小企業経営近代化融資は延長を検討中。その他は現時点で具体的な検討はしていないが、状況に応じて本部会議で検討する。

梶澤委員：⑦要・準要保護児童就学援助費は申請に対して1件認定されていないがどういう理由か。

学校教育課長：通常は前年度所得に応じているものを緩和し、今年度減額になった場合にも拡大した。1件は基準より収入が多く不認定となった。

梶澤委員：⑩めむろ赤ちゃん特別支援金は12月31日に生まれた子まで対象と思うが、当初の想定人数より少ないが今後生まれる方の手続きは済んでいるか。

総務課参事：54人に今後生まれる方は含まれていない。

梶澤委員：対象者への周知、確認はされているか。

総務課参事：周知されていると認識している。担当にも再度確認する。

梶澤委員：支給額が10万円であれば数字が合わないが。

総務課参事：1万円と10万円の2パターンがある。1万円のみ対象が7名。1万円と10万円両方対象が47名となる。

委員長：以上で調査事項「ア 芽室町における新型コロナウイルス感染症対策について」を終わります。

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日時について
両委員長協議とします。

(2) その他

委員、議長、事務局なし。

以上をもって、合同委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和2年11月20日

総務経済常任委員会委員長 正村 紀美子